

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 階上町社会福祉協議会

会務の運営

1. 理事会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席数 | 議 案 | 結 果 |
|---|-----------------------|----------------------------|---------------------------|---|--|
| 1 | 令和元年 5月30日 (木) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 理事 12名 監事 2名 | 報告第1号 平成30年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について 議案第1号 経理に関する細則の制定について 議案第2号 平成30年度事業報告並びに資金収支決算について 議案第3号 令和元年度資金収支補正予算(案)について 議案第4号 令和元年度定時評議員会の招集について 議案第5号 令和元年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について 人事案1号 理事の選任候補者の提案について 人事案2号 監事の選任候補者の提案について 人事案3号 評議員の選任候補者の提案について 協 議 令和元年度共同募金配分申請事業について | 承 認 原案決議 承 認 原案同意 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案承認 |
| 2 | 令和元年 6月14日 (金) | ハートフルプラザは しかみ (大会議室) | 理事 12名 監事 2名 | 人事案1号 会長、副会長、常務理事の選定について 人事案2号 顧問の委嘱について 協 議 部会員の構成について | 選 定 原案決議 原案承認 |
| 3 | 令和元年 11月11日 (月) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 理事 12名 監事 3名 | 報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 令和元年度第2回評議員選任・解任委員会の招集について 人事案1号 評議員選任候補者の提案について | 原案決議 原案決議 |
| 4 | 令和2年 3月12日 (木) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 理事 12名 監事 2名 | 報告第1号 令和元年度共同募金配分事業変更計画について 報告第2号 令和元年度自己評価実施結果について 報告第3号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第1号 指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について 議案第2号 ヘルパーステーション運営規程の一部を改正する規程の制定について 議案第3号 障害者ヘルパーステーション運営規程の一部を改正する規程の制定について 議案第4号 職員就業規則の一部を改正する規則の制定について 議案第5号 臨時職員・パート職員・登録職員就業規則の一部を改正する規則の制定について 議案第6号 令和元年度資金収支補正予算(案)について 議案第7号 令和2年度事業計画並びに資金収支予算(案)について 議案第8号 令和元年度第2回評議員会の招集について 議案第9号 令和元年度第3回評議員選任・解任委員会の招集について 人事案1号 評議員選任候補者の提案について | 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案決議 原案同意 原案同意 原案決議 原案決議 原案決議 |

2. 評議員会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席数 | 議 案 | 結 果 |
|---|----------------------|----------------------------|--|--|--|
| 1 | 令和元年 6月14日 (金) | ハートフルプラザは しかみ (大会議室) | 評議員 25名 理事 4名 監事 2名 | 報告第1号 平成30年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について 議案第1号 平成30年度事業報告並びに資金収支決算について 議案第2号 令和元年度資金収支補正予算(案)について 人事案1号 理事の選任について 人事案2号 監事の選任について 協 議 令和元年度共同募金配分申請事業について | 承 認 承 認 原案承認 選 任 選 任 原案承認 |
| 2 | 令和2年 3月23日 (月) | ハートフルプラザは しかみ (大ホール) | 評議員 25名 理事 4名 | 報告第1号 令和元年度共同募金配分事業変更計画について 報告第2号 令和元年度自己評価実施結果について 議案第1号 令和元年度資金収支補正予算(案)について 議案第2号 令和2年度事業計画並びに資金収支予算(案)について | 原案承認 原案承認 |

3. 監査会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席数 | 監 査 事 項 | 結 果 |
|---|-----------------------|----------------------------|----------|---|--------------------------|
| 1 | 令和元年 5月20日 (月) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 監事 3名 | 1. 平成30年度業務執行状況について 2. 平成30年度計算書類、附属明細書、財産目録について | 適正に処理さ れていること を認めた |
| 2 | 令和元年 11月27日 (水) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 監事 3名 | 1. 令和元年度上半期業務執行状況について 2. 令和元年度上半期計算書類、附属明細書、財産目録について | 適正に処理さ れていること を認めた |

4. 評議員選任・解任委員会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席数 | 議 案 | 結 果 |
|---|-----------------------|---------------------------|----------|---------------------|-----|
| 1 | 令和元年 6月6日 (木) | ハートフルプラザは しかみ (応接室) | 委員 4名 | 議案第1号 評議員の補欠の選任について | 選 任 |
| 2 | 令和元年 11月18日 (月) | ハートフルプラザは しかみ (応接室) | 委員 4名 | 議案第1号 評議員の補欠の選任について | 選 任 |
| 3 | 令和2年 3月18日 (水) | ハートフルプラザは しかみ (応接室) | 委員 4名 | 議案第1号 評議員の補欠の選任について | 選 任 |

5. 専門部会

(1) 総務企画部会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席数 | 協 議 案 件 |
|---|-----------------------|----------------------------|-----------|---|
| 1 | 令和元年 11月11日 (月) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 部会員 5名 | 1. 部会長、副部会長の互選 2. 部会所掌事項等について |
| 2 | 令和2年 2月25日 (火) | ハートフルプラザは しかみ (小会議室) | 部会員 6名 | 1. 令和元年度共同募金配分事業変更計画(案)について 2. 自主財源について 3. ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 4. 介護保険事業について 5. その他 |

(2) 地域福祉部会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席数 | 協 議 案 件 |
|---|-----------------------|----------------------------|-----------|----------------------------------|
| 1 | 令和元年 11月11日 (月) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 部会員 6名 | 1. 部会長、副部会長の互選 2. 部会所掌事項等について |
| 2 | 令和2年 2月25日 (火) | ハートフルプラザは しかみ (小会議室) | 部会員 5名 | 1. 令和2年度実施事業の検討について 2. その他 |

6. 幹部会

| 回 | 開催月日 | 開催場所 | 出席者数 | 協 議 案 件 |
|---|-----------------------|----------------------------|------|--|
| 1 | 令和元年 5月24日 (金) | ハートフルプラザは しかみ (小会議室) | 5名 | 1. 令和元年度第1回理事会提案議案について 2. 令和元年度定時評議員会提案議案について 3. 令和元年度第2回理事会提案議案について 4. 令和元年度第1回共同募金委員会運営委員会提案議案について 5. 平成30年度介護保険事業等実績について 6. 令和元年度社協会費について 7. 第69回三戸郡社会福祉大会被表彰候補者の推薦について 8. その他 |
| 2 | 令和元年 8月21日 (水) | ハートフルプラザは しかみ (応接室) | 5名 | 1. 令和元年度第2回共同募金委員会運営委員会提案議案について 2. 令和元年度社協会費実績状況について 3. 第41回町社会福祉大会について 4. 敬老会について 5. 職員募集について 6. その他 |
| 3 | 令和元年 10月9日 (水) | ハートフルプラザは しかみ (中会議室) | 5名 | 1. 令和元年度第3回理事会提案議案について 2. 令和元年度社協会費実績状況について 3. その他 |
| 4 | 令和元年 12月18日 (水) | ハートフルプラザは しかみ (応接室) | 4名 | 1. 令和元年度共同募金実績状況について 2. 令和元年度介護保険事業等実績状況について 3. 令和2年度町補助金・委託金交付申請内容について 4. 職員募集について 5. いきいきシルバーク事業について 6. その他 |
| 5 | 令和2年 3月6日 (木) | ハートフルプラザは しかみ (応接室) | 4名 | 1. 令和元年度共同募金配分事業変更計画について 2. 令和元年度第4回理事会、第2回評議員会提案議案について 3. 令和元年度第3回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4. 職員募集について 5. 新型コロナウイルス感染予防について 6. その他 |

理事・監事・評議員等名簿

令和2年3月31日現在

1. 理事（定数10名以上13名以内）

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 会 長 | 松 橋 竹 子 | | |
| 副 会 長 | 十文字 倉 男 | 中 島 孝 一 | |
| 常 務 理 事 | 鳩 文 男 | | |
| 理 事 | 平 野 悦 子 | 上長根 武 志 | 上 重 一 男 |
| | 森 榮 吉 | 濱 谷 三枝子 | 松 川 金次郎 |
| | 岩 城 恵 子 | 梨 子 謙 一 | 長 根 清 子 |

2. 監 事（定数3名以内）

| | | |
|---------|-------|-------|
| 野 沢 敏 雄 | 上 博 文 | 郷 州 満 |
|---------|-------|-------|

3. 評 議 員（定数31名以上34名以内）

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 山 下 和 子 | 岩 谷 悦 子 | 外 崎 礼 子 | 小 室 行 弘 |
| 左 舘 幸 雄 | 中 城 功 | 中 田 兼 雄 | 小 向 登美男 |
| 坂 本 憲 子 | 三 島 ティル | 下 野 禮知子 | 澁 谷 一 枝 |
| 鈴 木 晟 爾 | 荒 谷 正 壽 | 廣 田 勝 三 | 松 川 純 悦 |
| 堰 合 勝 美 | 高 橋 一 郎 | 荻 沢 一 信 | 南 正 人 |
| 境 栄 治 | 寅 谷 正 美 | 上 平 稔 | 千 田 慶 子 |
| 西 山 圭 一 | 佐 京 忠 史 | 鹿 原 仁 | 上 野 正 宣 |
| 小 坂 正 年 | 大 下 修 子 | 小 野 榮 悦 | 下 野 ス ミ |
| 川 浪 秀 一 | 土 橋 秀 子 | | |

4. 評議員選任・解任委員会委員（定数4名）

| | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| 野 沢 敏 雄 | 上 博 文 | 佐 京 正 光 | 工 藤 靖 夫 |
|---------|-------|---------|---------|

実施報告

I 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

1. 地域住民の主体的福祉活動の推進

(1) 生活支援体制整備事業

1人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯等が、地域で孤立することなく安心感をもって生活できるよう、ほのぼの交流協力員やネット協力員による、見守りの訪問活動を推進するとともに、地域の福祉課題の把握等のため民生委員、区長、ほのぼの交流協力員等との情報交換を開催し、互いに支え合う体制・地域づくりの推進を図った。

ほのぼの交流協力員チーフを対象として、事業推進のための連絡会議を開催した。

- ・期 日 令和元年6月24日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 19名
- ・内 容 ほのぼの交流会開催計画について、事業推進に係る質問意見について 等

○協力員研修会の開催

ほのぼの交流協力員を対象として活動推進のための研修会を開催した。

- ・期 日 令和2年2月7日（水）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加者 35名（ほのぼの26名、サポーター9名）
- ・内 容 講義「知っておきたい成年後見制度」

講師：八戸市高齢福祉課地域包括支援センター

主査兼社会福祉士 山口 誠 氏

○情報交換会の開催

事業の取り組み状況や対象者把握等のため地区毎に区長、民生委員、ほのぼの交流協力員、ネット協力員との情報交換会を開催した。

| 地区名 | 期 日 | 場 所 | 参加者 | 地区名 | 期 日 | 場 所 | 参加者 |
|----------|-----------|-----------|-----|------|-----------|----------|-----|
| 石 鉢 | 令和2年1月8日 | 石鉢ふれあい交流館 | 6 | 耳ヶ吠東 | 令和2年1月20日 | 耳ヶ吠東集会所 | 6 |
| 蒼 前 | 令和2年1月7日 | 蒼前集会所 | 9 | 荒 谷 | 令和2年1月20日 | 旧荒谷集会所 | 4 |
| 野場中 | 令和2年1月8日 | 石鉢ふれあい交流館 | 8 | 大 蛇 | 令和2年1月21日 | 大蛇三地区集会所 | 5 |
| 角柄折 | 令和2年1月9日 | 新田集会所 | 3 | 追 越 | 令和2年1月21日 | 大蛇三地区集会所 | 5 |
| 金山沢 | 令和2年1月16日 | 金山沢水郷館 | 8 | 榊 | 令和2年1月22日 | 道仏交流センター | 8 |
| 田 代 | 令和2年1月28日 | 田代集会所 | 8 | 駅 前 | 令和2年1月22日 | 道仏交流センター | 4 |
| 嘸山・平内 | 令和2年1月16日 | わっせ交流センター | 10 | 道 仏 | 令和2年1月23日 | 道仏集会所 | 5 |
| 鳥屋部 | 令和2年2月1日 | 森の交流館 | 6 | 小舟渡 | 令和2年1月27日 | 小舟渡集会所 | 9 |
| 赤保内・耳ヶ吠西 | 令和2年1月9日 | 赤保内集会所 | 4 | 合 計 | | | 108 |

○地区別交流協力員・ネット協力員の状況

| 地区名 | 対象世帯 | 交流協力員チーム数 | 交流協力員数 | ネット組織世帯 | ネット協力員数 |
|---------|-------|-----------|--------|---------|---------|
| 石 鉢 | 4 5 | 1 | 7 | 1 | 3 |
| 蒼 前 | 5 0 | 2 | 5 | 1 | 2 (1) |
| 野 場 中 | 5 3 | 2 | 5 | 2 | 6 |
| 角 柄 折 | 3 4 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 金 山 沢 | 6 3 | 4 | 8 | 0 | 0 |
| 田 代 | 3 1 | 2 | 5 | 1 | 4 |
| 晴 山 沢 | 2 8 | 1 | 3 | 1 | 4 |
| 平 内 | 3 4 | 2 | 7 | 0 | 0 |
| 鳥 屋 部 | 3 5 | 2 | 6 | 0 | 0 |
| 赤 保 内 | 5 0 | 1 | 9 | 0 | 0 |
| 耳 ケ 吠 西 | | | | | |
| 耳 ケ 吠 東 | 3 2 | 1 | 7 | 2 | 4 (1) |
| 荒 谷 | 3 3 | 1 | 4 | 0 | 0 |
| 大 蛇 | 3 9 | 1 | 5 | 0 | 0 |
| 追 越 | 1 6 | 1 | 3 | 1 | 4 |
| 榊 | 5 3 | 1 | 5 | 0 | 0 |
| 駅 前 | 4 7 | 4 | 1 1 | 2 | 6 |
| 道 仏 | 5 6 | 5 | 1 2 | 2 | 6 (2) |
| 小 舟 渡 | 5 4 | 2 | 6 | 1 | 3 |
| 合 計 | 7 5 3 | 3 4 | 1 1 1 | 1 4 | 4 2 (4) |

※ () 内は、ネット協力員も兼ねているものの交流協力員の人数

(2) ほのぼの交流会開催事業

ほのぼの交流協力員と連携・調整を図りながら、交流会の企画支援や計画的な開催支援を図るとともに、介護予防運動指導員等の派遣調整を行い、参加者同士の交流と介護予防、地域における仲間づくりを推進した。また、「ほのぼのサロン」を開催し、高齢者の閉じこもり防止と参加者同士の交流を図った。

○交流会開催状況

| 地区名 | 開催回数 | 場 所 | 参加者 | 地区名 | 開催回数 | 場 所 | 参加者 |
|----------|------|------------|-----|-------|------|-----------|-------|
| 石 鉢 | 7 | 石鉢ふれあい交流館等 | 141 | 耳ヶ吠東 | 9 | 耳ヶ吠東集会所等 | 145 |
| 蒼 前 | 6 | 蒼前集会所等 | 186 | 荒 谷 | 4 | 旧荒谷集会所 | 81 |
| 野 場 中 | 5 | 石鉢ふれあい交流館等 | 188 | 大 蛇 | 4 | 大蛇三地区集会所 | 90 |
| 角 柄 折 | 6 | 新田集会所等 | 104 | 追 越 | 4 | 大蛇三地区集会所等 | 61 |
| 金 山 沢 | 13 | 新田集会所等 | 131 | 榊 | 4 | 道仏交流センター等 | 75 |
| 田 代 | 6 | 田代集会所等 | 137 | 駅 前 | 4 | 道仏交流センター等 | 117 |
| 晴 山 沢 | 3 | わっせ交流センター等 | 48 | 道 仏 | 4 | 道仏集会所等 | 74 |
| 平 内 | 4 | わっせ交流センター | 77 | 小 舟 渡 | 4 | 小舟渡集会所等 | 125 |
| 鳥 屋 部 | 6 | 森の交流館等 | 110 | | | | |
| 赤保内・耳ヶ吠西 | 4 | 赤保内集会所等 | 97 | 合 計 | 97 | | 1,987 |

※ 金山沢は、水無、野場、金山沢、長根班それぞれで開催。赤保内は、耳ヶ吠西と合同で開催。

○ほのぼのサロン実施状況

| 場所 | 開催時期 | 開催回数 | 参加者 |
|-----------|------------|------|-----|
| 田代集会所 | 5/7～5/28 | 4 | 62 |
| 大蛇三地区集会所 | 6/7～6/28 | 4 | 38 |
| 赤保内集会所 | 7/5～7/12 | 2 | 37 |
| 道仏交流センター | 8/2～8/30 | 4 | 41 |
| 石鉢ふれあい交流館 | 9/3～9/24 | 4 | 62 |
| 森の交流館 | 10/1～10/29 | 4 | 53 |
| 金山沢水郷館 | 11/8～11/29 | 3 | 43 |
| わっせ交流センター | 12/6～12/27 | 4 | 31 |
| 計 | | 29 | 367 |

(3) 緊急通報システム福祉安心電話サービス事業

協力員や民生委員、県社協（中央センター）、関係機関等と連携を図りながら、1人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で生活する上での、緊急時の身体的安全と精神的安心のため、365日24時間対応サービスとしての運営及び近隣住民による見守り活動の推進を図った。また、利用世帯を訪問し機器の点検や通報確認・消耗品等の交換と利用者の状況把握を行うとともに、事業周知に努めながら互いに支え合うネットワークづくりの推進を図った。

- 本年度設置台数 3台
- 事業退会者数 6名
- 年度末総設置台数 11台
- 協力員数 36名
- 通報着信・対応状況

| 通報着信状況 | | | | | | |
|--------|----|----|-------|-------|----|---|
| 緊急 | 相談 | 火災 | A C復電 | A C停電 | 故障 | 計 |
| | 1 | | 3 | 3 | 1 | 8 |

| 対応状況 | | | | | | | |
|-------|-------|-------|----------|----------|----------|-------|---|
| 協力員要請 | 救急車要請 | 消防車要請 | 救急・協力員要請 | 消防・協力員要請 | 停電・協力員要請 | 社協対応等 | 計 |
| | | | | | 3 | 2 | 5 |

(4) 敬老会開催事業

75歳以上の高齢者を対象として、地区住民が主体となって開催する地区敬老会への助成と開催支援を図り、敬老意識の高揚と地域ぐるみの主体的な活動として推進を図った。また、各会場へ町長及び会長（代理含む）の出席を図り、町長より顕彰状の贈呈等が行われた。

- 敬老会しおりの作成 2,400部
- 地区敬老会開催状況

| 地区名 | 開催期日 | 開催場所 | 対象者数 | 参加者 | | | 合計 |
|-------|---------------------------|-------------|-------|-----|-------|------|-------|
| | | | | 対象者 | 出席率 | 関係者等 | |
| 石 鉢 | 令和元年9月15日(日) | 石鉢ふれあい交流館 | 180 | 65 | 36.1% | 15 | 80 |
| 蒼 前 | 令和元年9月29日(日) | 蒼前集会所 | 222 | 84 | 37.8% | 12 | 96 |
| 野 場 中 | 令和元年9月16日(月) | 石鉢ふれあい交流館 | 197 | 87 | 44.2% | 23 | 110 |
| 角 柄 折 | 令和元年9月15日(日) (3地区合同開催) | 森の交流館 | 53 | 21 | 39.6% | 19 | 104 |
| 金 山 沢 | | | 94 | 33 | 35.1% | | |
| 鳥 屋 部 | | | 72 | 31 | 43.1% | | |
| 田 代 | 令和元年9月15日(日) | 田代集会所 | 52 | 25 | 48.1% | 15 | 40 |
| 晴 山 沢 | 令和元年9月17日(火) (2地区敬老会) | わっせ交流センター | 48 | 19 | 39.6% | 26 | 66 |
| 平 内 | | | 44 | 21 | 47.7% | | |
| 赤 保 内 | 令和元年9月17日(火) | 観音茶屋 東門 | 112 | 24 | 21.4% | 12 | 36 |
| 耳ヶ吠西 | 令和元年9月15日(日) (2地区合同開催) | ハートフルザ・はしかみ | 154 | 46 | 29.9% | 24 | 109 |
| 耳ヶ吠東 | | | 132 | 39 | 29.5% | | |
| 荒 谷 | 令和元年9月14日(土) (3地区合同開催) | 大蛇三地区集会所 | 53 | 35 | 66.0% | 29 | 120 |
| 大 蛇 | | | 59 | 22 | 37.3% | | |
| 追 越 | | | 67 | 34 | 50.7% | | |
| 榊 | 令和元年9月18日(水) | 道仏交流センター | 71 | 36 | 50.7% | 36 | 72 |
| 駅 前 | 令和元年9月15日(日) | 道仏交流センター | 129 | 63 | 48.8% | 19 | 82 |
| 道 仏 | 令和元年9月16日(月) | 道仏集会所 | 114 | 39 | 34.2% | 33 | 72 |
| 小 舟 渡 | 令和元年9月17日(火) | 小舟渡集会所 | 139 | 57 | 41.0% | 33 | 90 |
| 計 | | | 1,992 | 781 | 39.2% | 296 | 1,077 |

2. 当事者の社会参加の促進

(1) 介護予防・地域支援事業の推進

高齢者の介護予防と生きがいの促進及び家族介護者支援のため、ハート生き活き事業、通所型サービスC事業、家族介護者交流事業を、町地域包括支援センターや関係機関との連携のもとに推進を図った。

①ハート生き活き事業

ハートフルプラザにおいて毎週2回（月・木曜日）、健康相談や、舞踊・詩吟・手芸・裂き織り・いきいき体操・カラオケの趣味講座を実施した。また、ボランティアによる見守りのもと、エクササイズ機器やリラクゼーション機器の使用により利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防・啓発を図った。

| | |
|-------------------|-----------------------------|
| ○事業実施回数 | 86回（月曜日39回、木曜日47回） |
| ○延べ利用者数 | 3,614名（月曜日1,311名、木曜日2,303名） |
| ○利用登録者数 | 114名（男性28名、女性86名） |
| ○実利用者数 | 101名（男性25名、女性76名） |
| ○新規利用者 | 28名（男性12名、女性16名） |
| ○入浴サービス延べ利用者数 | 2,596名 |
| ○趣味講座及びはあとカフェ実施状況 | |

| 講座名 項 目 | 舞踊 | 詩吟 | 手芸 | 裂き織り | いきいき 体操 | カラオケ | はあと カフェ | 合計 |
|------------|-----|----|-----|------|------------|------|------------|-------|
| 実 施 回 数 | 43 | 33 | 44 | 78 | 17 | 35 | 86 | 336 |
| 参加延べ人数 | 285 | 65 | 370 | 329 | 318 | 147 | 2,351 | 3,865 |

講師 舞踊：木村キミ、詩吟：石川 誠、手芸：竹本肥子、裂き織り：奥山キミ子

体操：熊谷唱子、佐々木和子、山下さちゑ、上長根眞弓、関下りち子（日本レクリエーション協会福祉レクラー）、

小西池郁子（介護予防運動指導士）、大久保幸恵（県南レクリエーション指導者クラブ）、中村真由美（介護予防指導士）、関下和彦（健康運動指導士）、斉藤あかね（健康運動指導士）

※新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月2日から23日まで入浴サービスのみの実施（午前中のみ）とし、26日、30日は事業を中止とした。

②認知症カフェ設置事業

認知症の方やその家族及び地域住民を対象に、認知症についての相談や情報提供、助言のほか、認知症についての正しい知識や普及啓発を図るとともに、相互の交流の場としてハートフルプラザに毎週2回（月・木曜日）、ハート生き活き事業実施日に合わせ、認知症カフェとして「はあとカフェ」を設置した。

| | |
|---|-------------------------|
| ○実施回数 | 86回（月曜39回、木曜47回） |
| ○延べ利用者数 | 2,351名（月曜857名、木曜1,494名） |
| ○実利用者数 | 53名（男性8名、女性45名） |
| ○実施内容 | |
| ・ 看護師及び専門職員等による相談、助言等 | |
| ・ 認知症予防運動教室 計17回 | |
| ・ カフェボランティアによる、運動指導の補助並びに、利用者の話し相手や運営補助（86回：延べ165名） | |

※新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月2日から23日まで午前中のみの実施とし、26日、30日は事業を中止とした。

③通所型サービスC事業（3ヶ月間2クール実施）

毎週1回、ハートフルプラザにおいて「わんつかげんき教室」を集团的・通所形態により実施し、要介護状態への予防を図るとともに、生きがいや自己実現のための取り組みの支援を図った。

【実施期間・回数・参加者数】

・第1クール 6月～ 8月（12回） 参加者28名（男性0名、女性28名）

・第2クール 11月～ 1月（12回） 参加者19名（男性2名、女性17名）

ストレッチ体操、筋力トレーニング、バランス感覚向上トレーニング、簡易な器具を用いた運動や認知症予防体操等を実施し、運動機能の維持と向上を図った。また、難易度の違うメニューを準備し、個々の体力や身体状況に合わせて実施し、上肢、下肢筋力の低下を予防するとともに、参加者の継続意欲向上を図るため、毎回課題を提示し、自宅でも運動に取り組めるよう推進を図った。

○指導スタッフ

理学療法士（1クール1回×2）、介護予防運動指導員（1クール2回×2）、看護師（24回）、介助ボランティア（24回：延べ47名）、社協職員（運動指導20回）

④家族介護者交流事業

介護者同士の交流と情報交換並びに心身のリフレッシュを図るため、在宅介護者の集いを開催するとともに、介護講座を開催し在宅介護の技術と対応方法の習得を図った。

○第1回介護者の集いの開催

・期 日 令和元年6月26日（水）

・場 所 十和田市方面

・参加者 13名

・内 容 手づくり村鯉艸郷見学、十和田市現代美術館見学、昼食会、情報交換会（介護者同士の意見交換）

○介護者のための「介護講座」の開催

・期 日 令和元年12月23日（月）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ

・参加者 16名

・内 容 アンガーマネジメント講座「怒りと上手に付き合う方法」

講師：日本アンガーマネジメント協会公認

アンガーマネジメントファシリテーター 才神 敦子 氏

小物入れ作り、昼食会、情報交換会（介護者同士の意見交換）

○第2回介護者の集いの開催

・期 日 令和2年2月17日（月）

・場 所 南部町「アヴァンセふくち」

・参加者 13名

・内 容 プリザーブドフラワー作り体験

講師：リアンブロッサム代表 田代 亜紀子 氏

昼食会、情報交換会（介護者同士の意見交換）

（2）福祉団体等の育成支援

町内の7福祉団体の事務局を担当し、会員加入促進による組織の強化を重点目標として、各団体の事業推進に努めた。

○事務局担当福祉団体

①階上町老人クラブ連合会

②階上町身体障害者福祉会

③階上町手をつなぐ育成会

④階上町母子寡婦福祉会

⑤階上町共同募金委員会

⑥ボランティアサークルけやき

⑦階上町在宅介護者の会

(3) ハートフルプラザ・はしかみの管理運営（指定管理事業）

利用者の平等な利用の確保や安全性・利便性の確保に努め管理運営を推進するとともに、利用者のニーズや意見・要望を把握しながら誰もが利用しやすい管理運営に努めた。

施設管理にあたっては、外部専門事業者を活用し適切な施設の維持管理に努め、設備機器については定期的な点検等により異常や故障の早期発見と町担当課や関係機関等との連絡調整を図りながら対応を図った。また、台風19号災害による避難所として、町担当課と連携して自主避難者等への必要な対応を図った。

○施設の利用状況

- ・利用回数 1, 332回（内使用料領収の回数：142回）
- ・月平均利用回数 111回（内使用料領収の回数：11回）
- ・利用人数 28, 510名（内使用料領収の人数：3, 278名）
- ・月平均利用人数 2, 375名（内使用料領収の人数：273名）

○図書の利用状況

- ・利用人数 523名
- ・月平均利用人数 43名
- ・利用冊数 1, 581冊（児童図書412冊、一般図書1, 169冊）
- ・月平均利用冊数 131冊（児童図書34冊、一般図書97冊）

○施設維持管理、設備機器点検内容

①浄化槽維持管理業務

保守点検：毎月1回、浄化槽清掃：年1回（12月）、水質検査：年1回（11月）
法定検査：年1回（9月）

②消防設備保守点検業務

外観及び機能保守：年2回（6月・12月）、総合保守：年1回（6月）、防火対象物点検：年1回（9月）

③自家用電気工作物保安管理業務

月次点検：需要設備2ヶ月に1回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）、年次点検：年1回（1月）

④清掃業務

床ワックス清掃：年4回（6月・9月・12月・3月）、ガラス清掃：年2回（5月・11月）
カーペット洗浄：年2回（4月・10月）

⑤ボイラー空調設備及び給湯ボイラー保守点検

ボイラー空調設備保守点検：年2回（7月・10月）、給湯ボイラー保守点検：年1回（7月）

⑥重油地下タンク清掃及び漏洩検査業務：年1回（7月）

⑦ステップリフト点検業務：年2回（7月・12月）

⑧ピアノ調律・点検：年2回（5月・12月）

⑨レジオネラ属菌分析：年1回（12月）

○消防訓練の実施

- 【1回目】 ・期 日 令和元年8月23日（金）
・参加者 15名（職員10名、警備関係者3名、消防設備関係者2名）
・内 容 部分訓練（館内非常放送、避難誘導、消火訓練）
- 【2回目】 ・期 日 令和2年3月31日（火）
・参加者 14名（職員8名、警備関係者4名、消防設備関係者2名）
・内 容 総合訓練（通報、館内非常放送、避難誘導、消火訓練）

○令和元年台風19号災害に伴う避難所対応

- ・避難所開設日 令和元年10月12日（土）～13日（日）
- ・避難者数 5名（男性1名、女性4名）

○施設見学の受入れ

見学者：道仏小学校児童6名、担当教諭1名
見学日：令和元年9月12日（木）

○意見・要望等の状況（意見箱によるもの）

意見・要望事項等はなかった。

(4) いきいきシルバーバンク事業

健康で働く意欲のある高齢者の経験や知識、技術を活かし、就労を通じて生きがいづくり、健康・福祉の増進を図るため、町より三陸復興国立公園内道路維持業務等を受託し、階上岳登山道等の草刈り作業を進めた。また、就業登録者の募集を進めながら1人暮らし高齢者世帯や一般世帯のニーズにより草刈り作業等の対応を図った。

○就業登録者 68名（内元年度登録者5名）

○刈払機取扱安全講習会の開催

- ・期 日 令和元年6月10日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 15名
- ・講 師 三八地方森林組合 技師 沼沢 佳哉 氏
- ・内 容 講義、刈払機取扱実技

○三陸復興国立公園内道路維持業務等に係る作業打合せ会の開催

- ・期 日 令和元年6月17日（月）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 33名（登録者30名、現場管理者1名、事務局2名）
- ・内 容 作業方法、作業場の心得、留意事項等について

○三陸復興国立公園内道路維持業務等草刈作業路線

- | | |
|----------------------|---------------------|
| ①登山口・石倉線（町道5,700m）2回 | ⑪第2田代線（林道1,900m）1回 |
| ②寺下線（林道2,200m）2回 | ⑫中屋敷・岳線（町道2,200m）1回 |
| ③寺下・土折線（町道17,500m）2回 | ⑬臥牛園 2回 |
| ④館神社付近（トレイル300m）2回 | ⑭放牧場遊歩道等 2回 |
| ⑤上野・廿一線（町道500m）2回 | ⑮大開平遊歩道（トレイル）2回 |
| ⑥銀杏木・寺下線（町道1,200m）2回 | ⑯熊野堂（トレイル）2回 |
| ⑦野沢・燈明堂下（町道1,100m）2回 | ⑰農村公園 2回 |
| ⑧上野線（林道600m）1回 | ⑱八戸久慈道溜池 1回 |
| ⑨放牧場前（1,100m）1回 | |
| ⑩第1田代線（林道1,300m）1回 | |

○三陸復興国立公園内道路維持業務等草刈作業状況

- ・作業日数 41日間（5月：1日、6月：4日、7月：16日、8月：6日、9月：14日）
- ・実作業人員 登録者38名、現場管理者2名
- ・作業人員 延べ557名（登録者468名、現場管理者71名、事務局18名）

○住民ニーズへの対応

一般家庭の草刈り、草取り作業等軽易な作業の対応を図った。

- ・作業依頼件数 53件
- ・作業依頼者数 29名

| 依頼内容 内訳 | 草 取 り | 庭 木 剪 定 | 草 刈 り | 伐 採 | 農 作 業 | 家 事 援 助 | （延べ） 計 |
|------------|-------------|------------------|-------------|--------|-------------|------------------|-----------|
| 依頼件数 | 21件 | 6件 | 23件 | 1件 | 1件 | 1件 | 53件 |
| 作業人員 | 33名 | 6名 | 34名 | 1名 | 4名 | 1名 | 79名 |
| 作業日数 | 54日 | 9日 | 26日 | 1日 | 1日 | 44日 | 135日 |
| 延べ作業人員 | 68名 | 9名 | 39名 | 1名 | 4名 | 44名 | 165名 |

- ・手数料収入 49,015円

3. 福祉課題の把握

(1) 福祉ニーズ・課題把握

民生委員児童委員やほのぼの交流協力員、関係機関等の連携を図りながら、地域福祉活動を推進する中で、地域の福祉課題やニーズ把握に努めるとともに、介護保険サービス利用者のアンケート調査を実施し、課題やニーズの把握に努めた。

(2) 地域福祉活動計画の進行管理

第3次地域福祉活動計画の進行管理のための委員会を設置する計画であったが、諸般の事情により設置できなかったため、令和2年度において設置を図り進行管理を推進する。

Ⅱ 福祉教育・ボランティア活動の推進

1. 福祉意識の高揚と人づくり

(1) 第41回階上町社会福祉大会の開催

- 期 日 令和元年11月22日（金）
- 場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- スローガン 「ともに生き支えあう福祉のまちづくり」
- 参加者 235名
- 内 容 認知症サポーター養成講座
講演「みんなで学ぶ 認知症のこと」
講師：東八戸病院 リハビリテーション科科长 大塚 基永 氏
健康福祉劇・合唱
ボランティア推進校活動発表 石鉢小学校、道仏中学校
大会式典 社会福祉功労者表彰等
(表彰者：伝達10名、表彰16名、感謝6個人・2団体、福祉作文入選者6名)
社会福祉作文発表（最優秀） 発表者：河合美結（道仏小6年）、川口陽世（階上中3年）
町母子寡婦福祉会物品販売、町手をつなぐ育成会コーヒー販売、介護機器展示

(2) 福祉サポーター養成講座の開催

地域における見守り支え合い等のボランティア育成と住民参加による地域福祉充実への理解を図るための養成講座を開催した。

- ・期 日 令和元年12月10日（火）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）
- ・参加者 9名
- ・内 容 講義「認知症について」
講師：認知症の人と家族の会 青森県支部 世話人代表 石戸 育子 氏

(3) 実習生の受入れ

訪問介護員実習生を受入れ、福祉に関わる人材育成を図るとともに、実習指導をととして職員の専門性の向上に努めた。（訪問介護実習生受入人数：3名）

2. 福祉教育の推進

(1) ボランティア推進校事業の推進

○指定校 町内全小中学校（小学校6校、中学校2校）

○事業推進会議の開催

- ・期 日 令和元年5月8日（水）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（小会議室）
- ・参加者 10名（担当教師7名、会長、事務局2名）
- ・内 容 事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

○活動状況（活動報告書より）

| 学校名 | 主な活動内容 |
|--------|--|
| 石鉢小学校 | ○学校だより等をととして活動状況掲載 ○町社会福祉大会での活動発表 ○かっこの森訪問 ○八戸第一養護学校との交流 ○ほのぼの交流会をととした地域住民との交流 ○高齢者疑似体験の実施 ○赤い羽根共同募金等の募金活動、プルタブ収集、プルタブ収集 ○太鼓部の地域行事への参加（臥牛山まつり、いちご煮まつり、石鉢夏祭り） |
| 階上小学校 | ○学校だより等をととして活動状況掲載 ○通学路の安全確認調査 ○階上岳の清掃登山 ○草刈り、窓ふき、通学路等の清掃活動 ○ほのぼの交流会での高齢者との交流 ○えんぶりの披露（臥牛苑、わらび苑、臥牛山祭り、いちご煮まつり、八戸えんぶり、運動会、学芸発表会） ○老人クラブ会員の指導のもと農業体験活動の実施 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○ペットボトル蓋の収集活動 ○八戸第二養護学校生徒との交流 |
| 赤保内小学校 | ○学校だより等への活動掲載 ○駒踊り発表会（臥牛山まつり、いちご煮まつり等） ○赤保内駒踊り保存会との実技指導、交流 ○米づくり、畑作体験学習 ○福祉作文への取り組みと発表会の開催 ○高齢者疑似体験の実施 ○祖父母参観日を通しての高齢者との交流 ○地域のあいさつ運動実施 ○もちつき会を通しての地域住民との交流 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○プルタブ、ベルマーク等の収集活動 ○読み聞かせボランティアとの交流 |
| 大蛇小学校 | ○学校だよりへの活動掲載 ○福祉作文の応募 ○ふのり採り体験等の体験学習 ○校地草刈と校舎ワックスがけ ○赤い羽根共同募金等の募金活動、プルタブ収集活動 ○植樹運動 ○大蛇駅舎、大蛇海岸の清掃 ○学習発表会を通しての地域住民との交流 ○いちご煮まつり、臥牛山祭りでの伝統芸能等披露 ○夜間防火パトロール ○朝のあいさつ運動 ○大蛇三地区敬老会への参加をと おしての高齢者との交流 |
| 道仏小学校 | ○学校だより等への活動掲載 ○福祉作文への取り組み ○ごみ減量とリサイクルへの取り組み ○校内外の清掃、除雪作業 ○米作り体験学習をととしての地域住民との交流 ○神楽組の方からの指導のもと道仏子ども神楽の披露（いちご煮まつり、学習発表会等） ○ユニセフ募金への協力 ○防災に係る活動 |
| 小舟渡小学校 | ○小学校だよりへの活動掲載 ○地域住民へのあいさつ運動 ○学校周辺、海岸の清掃活動 ○うに採り、ふのり採り等での体験学習 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○プルタブ、アルミ缶の収集 ○独楽回し大会等を通しての老人クラブ会員との交流 ○伝統芸能の披露（いちご煮祭り） |
| 階上中学校 | ○学校だより等への活動掲載 ○学校環境整備、除雪作業 ○赤い羽根共同募金街頭募金活動 ○文化祭での鳥屋部えんぶり発表会を通しての地域住民との交流 ○町社会福祉大会での福祉作文発表 |
| 道仏中学校 | ○文化祭等での活動展示 ○赤い羽根共同募金等の募金活動 ○学路、海岸や公共施設等の清掃活動 ○大蛇よさこい、道仏神楽、小舟渡沖揚が音頭発表会を通しての地域住民との交流（町民文化祭） ○草刈り、花壇整備 ○ペットボトルキャップ、プルタブの回収 |

○高齢者疑似体験の実施

| 期 日 | 場 所 | 参加者 |
|-----------|-------|----------|
| 令和2年1月24日 | 石鉢小学校 | 37名（3年生） |

(2) 幼児と高齢者のふれあい事業

町内児童福祉施設（保育園4ヶ所）において、施設の行事等をととして地域の高齢者と幼児のふれあい交流を促進するとともに、施設の協力を得て、地区敬老会や町老人クラブ連合会スポーツ大会等における高齢者との交流活動の推進を図った。

○事業推進会議の開催

- ・期 日 令和元年5月8日（水）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（小会議室）
- ・参加者 6名（担当職員3名、会長、事務局2名）
- ・内 容 事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

○活動状況（活動報告書より）

| 施設名 | 主な活動内容 |
|---------|---|
| 石鉢保育園 | 夕涼み会、運動会、おにぎりクッキング、生活発表会、デイサービスみほの訪問をととしての交流 |
| 階上保育園 | 園庭の草取り・種まき、運動会、大蛇三地区敬老会、小舟渡敬老会、クリスマス会をととしての交流 |
| はまゆり保育園 | ほのぼの交流会、流しそうめん大会、大運動会、収穫祭をととしての交流 |
| 道仏保育園 | 旧端午の節句、人形劇観賞、七夕のつどい、運動会、榊地区敬老会、クリスマス会、お正月遊び、えんぶり鑑賞、卒園式等をととしての交流 |

(3) 第40回社会福祉作文の募集と文集「そよ風」の発行

○応募総数 34編（小学生20編、中学生14編） 町内全小中学校より応募

○審査会の開催

- ・期 日 令和元年10月8日（火）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（小会議室）
- ・出席者 審査員5名、事務局
- ・内 容 委員長選出、入選作審査（最優秀等入選6作品を決定）

○入選作品を掲載する文集「そよ風」第40集を発行（200部）するとともに、最優秀作品の社会福祉大会での発表と社協だよりへの掲載により、児童生徒の福祉に寄せる思いの理解と啓発を図った。

(4) 福祉体験学習事業

中学生を対象として、町内の福祉施設での交流や体験等をととして福祉充実への啓発を図った。

- ・期 日 令和元年6月19日（水）、7月1日（月）、2日（火）
- ・体験施設 臥牛苑、双松苑、ありがとう、石鉢保育園、はまゆり保育園、階上保育園、道仏保育園
- ・参 加 者 13名（道仏中1年生）

3. ボランティア活動の推進

安心、安全に活動できるようボランティア保険の周知と加入促進を図った。

○ボランティア保険の加入

- ・加入者数 284名

Ⅲ 福祉情報の提供・総合相談・自立生活支援機能の充実

1. 福祉情報の提供

(1) 広報誌「社協だより」の発行

社協活動や福祉事業への理解と啓発及び情報提供のため、広報誌として「社協だより」の毎月発行を行い広報活動の充実に努めた。

○社協だよりの発行

- ・発行回数 毎月発行（年度内44ページ）2色印刷
- ・発行部数 55,200部（4,600部×12ヶ月）

※有料広告の掲載事業所はなかった。

(2) 社協ホームページの運用・更新

社協ホームページにより、インターネットによるタイムリーな事業や活動状況の周知を図った。

(HP アドレス <http://www.shakyo.or.jp/hp/220/>)

(3) 第3次地域福祉活動計画の周知

計画的な地域福祉推進のための第3次地域福祉活動計画の計画概要について、社協だよりへ掲載するとともに、社協ホームページへ計画書を掲載し住民への理解と周知に努めた。

2. 相談体制の充実

住民の抱える問題や悩み事が複雑多様化する中で、行政相談員・人権擁護委員及び関係機関との連携のもとに相談支援を図るとともに、高齢者相談窓口として町地域包括支援センターとの連絡調整を図りながら事業の推進に努めた。また、専門相談のニーズに対応し毎月1回弁護士による法律相談を実施し、相談者の抱える問題の解決に努めた。

○相談員数 10名（民生委員4名、学識経験者6名）

○相談所開設日数 34日（毎週火曜日定例相談所開設、毎月第3火曜日合同相談所開設、毎月第4火曜日法律相談所開設）

○利用者数 33名（男性7名、女性22名、同伴者4名）

○相談件数 29件（心配・合同相談：4件、法律相談：25件）

○運営委員、相談員合同会議（事例研究含む）の開催

【第1回】・期 日 平成31年4月19日（火）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）

・出席者 16名（相談員9名、運営委員4名、会長、事務局2名）

・内 容 委嘱状交付、主任相談員・主任代理相談員の互選

平成31年度相談所の運営について、平成30年度相談利用状況について

【第2回】・期 日 令和2年2月21日（金）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）

・出席者 15名（相談員9名、運営委員4名、会長、事務局2名）

・内 容 令和元年度相談利用状況について、令和元年度相談事例について

令和2年度相談所の運営について、令和2年度相談所開設日程について

○相談員研修会の開催

・期 日 令和元年7月30日（火）

・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）

・出席者 9名（相談員9名、人権擁護委員2名）

・内 容 講演「民法改正に伴う改正点について」

講師：青森地方法務局 八戸支局 統括登記官 有馬 浩良 氏

○相談項目ごとの件数と処理状況

| 相談事項 件数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 合 |
|------------|------|----|-------|----|----|----|----|----------|----|-------|----|----|-----------|--------|----------|-----------|------|----|-----|----|
| | 生計 | 年金 | 職業・生業 | 住宅 | 家族 | 結婚 | 離婚 | 健康・保健・衛生 | 医療 | 人権・法律 | 財産 | 事故 | 児童福祉・母子保健 | 教育・青少年 | 障害者(児)福祉 | 母子福祉・父子福祉 | 老人福祉 | 苦情 | その他 | 計 |
| 取扱件数 | 2 | | | 6 | 1 | | 3 | | | 3 | 12 | | | | | | 1 | 1 | | 29 |
| 処理状況 | 解決 | 2 | | 6 | 1 | | 2 | | | 3 | 12 | | | | | | 1 | 1 | | 28 |
| | 再来 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 民生委員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 他機関 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3. 自立生活支援の充実

(1) 給食サービス事業

- サービス実施回数 99回(水曜日49回、金曜日49回、木曜1回)
- サービス利用実人数 11名(1人暮らし10名、その他1名)
- サービス利用延べ人数 407名(水曜日229名、金曜日178名)
- ボランティア延べ人数 129名(運転45名、補助84名)
- 弁当依頼事業所 サポートセンター虹(八戸市)
- 年末年越し配食サービス(12月31日実施)

75歳以上の1人暮らしの高齢者で、大晦日の年越しを1人で過ごされる方を対象に、ボランティアの協力を得ておせち料理の配食を実施した。

- ・利用者数 110名
- ・配食ボランティア 17名

(2) 福祉機器貸与事業

介護を必要とする高齢者や、重度障害者世帯等を対象に、福祉機器(介護用ベッド、車椅子)の貸出しを行い、介護者の介護負担の軽減を図るとともに、在宅での自立生活支援を図った。

○利用状況

| 機器名 | 前年度末 機器台数 | 寄附受入 台数 | 廃棄処分 台数 | 年度末 機器台数 | 前年度末 貸出台数 | 貸出台数 | 返却台数 | 年度末 貸出台数 |
|--------|--------------|------------|------------|-------------|--------------|------|------|-------------|
| 介護用ベッド | 23 | 0 | 7 | 16 | 18 | 4 | 6 | 16 |
| 車椅子 | 48 | 2 | 0 | 50 | 35 | 12 | 18 | 29 |

○プルタブ収集状況 年度内収集量 230kg(換金額:22,590円)

(3) 日常生活自立支援事業

高齢や障害等による軽度な判断能力の低下に伴い、1人で生活することに不安を感じたり、日常的な金銭管理が困難な方を対象として、基幹的社協(八戸市社協)や関係機関、生活支援員との連携のもとに日常生活上の支援を図った。

- ・利用者数 3名
- ・生活支援員 2名

(4) 介護保険サービス事業等の推進

高齢者や障がい者の自立した在宅生活支援のため、保健・医療・福祉の関係機関並びに関係サービス事業所、町地域包括支援センターと連携し、利用者本位のサービスとして事業の推進を図った。また、サービス向上のため利用者アンケート調査等の実施や実習生の受入れにより地域の介護人材の育成に努めた。

① 居宅介護支援事業

| | |
|------------------|---------------------|
| ○介護支援専門員の配置 | 3名（専任2名、兼任1名） |
| ○ケアプラン作成実利用者数 | 70名（男性26名、女性44名） |
| ○ケアプラン作成延べ利用者数 | 626名 |
| ○予防ケアプラン作成実利用者数 | 6名（男性3名、女性3名） |
| ○予防ケアプラン作成延べ利用者数 | 62名 |
| ○要介護認定調査件数 | 78件 |
| ○利用者アンケート調査 | 調査対象者数 49名 |
| | 回答者数 30名（回答率61.2%） |
| | 実施時期 令和2年1月 |
| | 調査方法 調査票の郵送又は聞き取り調査 |

② 訪問介護事業（特定事業所加算Ⅱ算定）

| | |
|---------------------|--------------------------------------|
| ○訪問介護員数 | 8名（常勤2名、登録型6名） |
| ○実利用者数 | 46名（男性15名、女性31名） |
| ○期間内利用者合計 | 359名（介護309名、総合事業50名） |
| ○延べ利用日数 | 4,340日（介護4,072日、総合事業268日） |
| ○延べ利用回数 | 6,803回（介護6,535回、総合事業268回） |
| ○延べ利用時間数 | 4,569時間47分（介護4,301時間47分、介護予防268時間） |
| ○実習生の受入れ | 3名（八戸社会福祉専門学校生徒3名） |
| ○実習日数 | 6日 |
| ○介護サービス情報公表制度実地調査受審 | （11月19日） |
| ○利用者アンケート調査 | 調査対象者数 27名（介護保険利用者25名、障害福祉サービス利用者2名） |
| | 回答者数 19名（回答率70.3%） |
| | 実施時期 令和2年1月 |
| | 調査方法 調査票の郵送又は聞き取り調査 |

③ 居宅介護事業（障害福祉サービス）

| | |
|-----------|-------------------------------|
| ○実利用者数 | 3名（視覚障害1名、上下肢機能障害1名、下肢機能障害1名） |
| ○期間内利用者合計 | 22名 |
| ○延べ利用日数 | 202日 |
| ○延べ利用回数 | 224回（通院介助8回、家事援助216回） |
| ○延べ利用時間数 | 239時間（通院介助25時間、家事援助214時間） |

④ 苦情解決第三者委員会の開催

- ・期 日 平成31年4月18日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（応接室）
- ・参加者 6名（委員3名、会長、事務局2名）
- ・内 容 苦情解決の取り組み状況について
苦情・要望の受付状況について

⑤ 福祉サービス苦情受付状況

| 受付数 | 対象サービス | 苦情概要 | 解決結果 |
|-----|--------|--------------------------------------|-------------------------|
| 1件 | 訪問介護 | 訪問介護員と相性が合わず、訪問されると心臓が苦しくなり、食欲もなくなる。 | 対象訪問介護員の訪問を控えることとし解決した。 |

(5) 各種資金貸付事業の推進

民生委員や県社協及び町担当課等と連携の図り、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯等の経済的支援と自立に向けて、資金貸付事業の対応を図るとともに、償還滞納者への督促や償還面接等を行いながら償還促進に努めた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生活福祉資金緊急小口資金の特例貸付の相談受付対応を進めた。

①たすけあい資金の貸付

| | |
|-------------|--------------------|
| ○前年度末貸付原資金額 | 7, 583, 452円 |
| ○前年度末貸付金額 | 2, 912, 914円 (47件) |
| ○本年度貸付金額 | 50, 000円 (1件) |
| ○本年度償還金額 | 115, 000円 (3件) |
| ○本年度末貸付金総額 | 2, 847, 914円 (45件) |
| ○本年度末貸付原資金額 | 7, 590, 348円 |

②高額療養費資金の貸付

| | |
|-------------|----------------|
| ○前年度末貸付原資金額 | 4, 189, 972円 |
| ○前年度末貸付金額 | 712, 000円 (3件) |
| ○本年度貸付金額 | 0円 (0件) |
| ○本年度償還金額 | 30, 000円 (0件) |
| ○本年度末貸付金総額 | 682, 000円 (3件) |
| ○本年度末貸付原資金額 | 4, 189, 972円 |

③生活福祉資金の貸付

○本年度決定金額 0円

○利用状況

| 資金種類 | 利用件数 | 貸付決定金額 | 貸付残高 (元金) |
|---------------|------|---------------|---------------|
| 教 育 支 援 資 金 | 14 | 11, 273, 490円 | 4, 913, 890円 |
| 緊 急 小 口 資 金 | 6 | 390, 000円 | 172, 250円 |
| 離 職 者 支 援 資 金 | 1 | 2, 400, 000円 | 2, 057, 160円 |
| 総 合 支 援 資 金 | 12 | 14, 231, 000円 | 12, 942, 320円 |
| 計 | 33 | 28, 294, 490円 | 20, 085, 620円 |

○償還促進面接の実施

- ・期 日 令和元年8月28日 (水)
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ (応接室)

(6) 移送・移動支援サービス等の実施検討

三戸郡内町村社協より、移送・移動支援サービスに関わる資料収集を行うとともに、郡社協幹事会において事業に係る情報収集に努めた。チャイルドシートやベビーカーなど育児用品の貸出事業や、生活困窮に陥っている方に対し、一時的に食料を提供し支援するフードバンク事業と合わせて、必要な資料・情報収集を進め具体的な実施検討を図る。

IV 災害時支援体制の充実

令和元年台風19号災害に伴い、県社協の派遣要請により福島県いわき市災害ボランティアセンターの運営支援のため職員1名を派遣した。また、ハートフルプラザが自主避難所に指定されたことから、避難者への必要な対応を図った。

○職員派遣期間 令和元年12月 2日（月）～ 7日（土）6日間

○避難所開設日 令和元年10月12日（土）～13日（日）

○避難者数 5名（男性1名、女性4名）

災害ボランティアセンターの運営に関わるボランティア並びに被災者への救援活動を行うボランティアとして必要な知識を習得し理解を深めるための講座を開催するとともに、災害ボランティア及び災害ボランティアセンター運営スタッフ登録者の募集を図った。

○災害ボランティア講座の開催

- ・期 日 令和2年2月27日（木）
- ・場 所 ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
- ・参加人数 38名
- ・内 容 講演・発表「地域防災と福祉のまちづくり」
講師・コーディネーター：青森県社会福祉協議会
地域福祉課 課長代理 今 伸子 氏
～台風19号災害被災地支援活動発表～

発表者 五戸町社会福祉協議会 主事 竹原 侑希 氏

階上町社会福祉協議会 主査 森 一晃 氏

情報提供「災害時の配信情報について」

町総務課行政防災グループ 野沢 一臣 氏

※新型コロナウイルス感染防止のため、予定していた災害ボランティアセンター設置訓練は中止した。

○災害ボランティア等登録状況

- ・災害ボランティア全登録者数 18名（新規登録者数3名）
- ・災害ボランティアセンター運営スタッフ全登録者数 16名（新規登録者数1名）

V 社協の機能・体制強化

1. 社協組織の強化

社会福祉法に則して事業運営の透明性の向上に努めながら組織運営を図るとともに、執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会並びに専門部会、各委員会等での協議検討を進め、組織の基盤強化に努めた。また、税理士による財務等に関するチェック・確認を行い、適正な組織運営に努めた。

2. 財政基盤の整備

(1) 社協会員の加入促進

各地区とも区長、班長の方々のご協力をいただき、社協事業の理解と周知を図りながら会員加入の促進に努めた。また、町内法人・事業所の団体会員加入の促進に努めた。

○会員数

| 会員区分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 比較増減 |
|-----------------|-------|--------|------|
| 普通会員 (1,000円) | 2,854 | 2,741 | 113 |
| 賛助会員 (2,000円) | 63 | 65 | △ 2 |
| 特別賛助会員 (5,000円) | 28 | 27 | 1 |
| 団体会員 (3,000円) | 43 | 38 | 5 |
| 合 計 | 2,988 | 2,871 | 117 |

(2) 公費助成の確保

社協が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに鑑み、地域福祉推進のための補助金・受託金について、町の理解と公費助成の継続的交付のための働きかけを行った。

○補助金、委託金に係る陳情

- ・期 日 令和元年12月18日(水)
- ・場 所 役場応接室
- ・出席者 11名(町長、副町長、総務課長、総合政策課長、健康福祉課長、福祉グループリーダー、正副会長、常務理事、事務局)

(3) 共同募金運動への協力

階上町共同募金委員会を中心として、共同募金運動の趣旨や配分事業の周知と理解を図りながら、地域福祉活動を支える共同募金運動への協力を図った。

○目標額 2,900,000円

○募金実績概要

| 募金種別 | 実績額 |
|------|------------|
| 戸別募金 | 2,171,826円 |
| 法人募金 | 432,000円 |
| 学校募金 | 52,833円 |
| 街頭募金 | 111,086円 |
| 職域募金 | 13,613円 |
| その他 | 106,580円 |
| 合 計 | 2,887,938円 |

3. 職員研修の充実等

社会福祉援助者としての職員の資質向上を図るため、県社協主催の研修会をはじめ外部研修等へ積極的に参加を図るとともに、職員会議における復命発表や事業・福祉サービス向上のための協議検討等とおして職員の専門性向上に努めた。また、正職員全員による自己評価を実施するとともに、実施結果に基づき次年度の事業計画等への反映を図った。

○職員会議の開催

毎月1回（12回開催）

○社協自己評価の実施

評価方法：青森県市町村社会福祉協議会自己評価指針により評価を実施した。

評価者：正職員全員（8名）

実施時期：令和2年1月～2月（自己評価指針評価シートによるチェック、集計）
2月（評価まとめ）

○外部研修参加状況

・事務局職員

社会福祉法人指導監査対策セミナー

県市町村社協連絡会役職員・監事等研修会

生活福祉資金貸付事業担当者研修会

生活支援コーディネーター養成研修

認知症キャラバンメイト養成研修

郡内町村社協職員研修会

認知症ケア向上研修

県市町村社協連絡会三八ブロック研修会 他

・介護事業職員

主任介護支援専門員更新受講要件研修

介護サービス情報の公表制度「10のテーマに係る研修会」

郡社協介護事業職員研修会

認定調査現任者研修

県障害者虐待防止権利擁護研修会

町介護保険事業所連絡会情報交換会 他

令和元年度事業報告附属明細書

令和元年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人
階上町社会福祉協議会
会 長 松橋 竹子